地域おこし協力隊

vol.２

『松本（まつもと）　慎一（しんいち）』の活動日記



◆着任2ヶ月、飯南・飯高を駆け巡る！「現場」から始まる地域づくり◆

前回の着任のご挨拶から早2ヶ月が経ちました。この2ヶ月間は、松阪市香肌地域づくり協同組合(空き家バンク)の一員として業務に携わるほか、各住民自治協議会からいただきました課題に対する活動など、飯南・飯高のあちこちを走り回る密度の濃い日々を過ごしています。今回は、現場で見えてきた地域のリアルと、これからの挑戦についてお話しします。

◆空き家バンクの現場と、飯南町粥見での「新しい挑戦」◆

現在、私は「松阪市香肌地域づくり協同組合」にて、空き家物件の撮影や案内、情報登録などに従事しています。空き家バンクの物件の中から、自身の拠点として飯高町森の家を借りて住んでいますが、今回、飯南町粥見にある古民家を購入しました。この古民家は今後、私個人が取り組むキャンプ事業の事務所として活用するだけでなく、地域の方や移住希望者、子どもからお年寄りまで「誰もがふらっと立ち寄れて、人が集えるお店」にしていきたいと考えています。

◆森住民自治協議会と「木場公園」でのキャンプ場管理◆

また、飯高町では森住民自治協議会の一員として、飯高町森にある「木場公園」のキャンプ場管理にも携わっています。蓮ダムや木場公園の魅力をSNSでお伝えしながら、地域行事に絡めてキャンプイベントを企画開催しております。香肌峡エリア全体の豊かな自然資源をどう守り、未来へ活かしていくかを日々模索しています。

◆地域の方との対話から見えてくる課題と解決への一歩◆

空き家調査やキャンプ場管理、そして粥見での拠点づくり準備を通し、飯南・飯高のたくさんの方々とお話しする機会が増えました。対話の中で見えてくるのは、人口減少や空き家の増加といった、中山間地域が直面する切実な課題です。しかし同時に、「この地域を良くしたい」「若い世代を応援したい」という地域の方々の温かい想いにも日々触れています。
地域の課題は、各住民自治協議会と膝を突き合わせて話す中でこそ見えてきます。雑談の中から生まれるヒントを大切にしながら、飯南・飯高の魅力をつなぎ、地域に新しい風を吹き込めるよう、一歩一歩具体的に取り組んでいきます。
これからの変化と活動も、ぜひ温かく見守っていただけると嬉しいです！

松阪市地域おこし協力隊の Instagram

松阪市地域おこし協力隊の Facebook

空き家でお困りの方へ～相談窓口のご案内～

当センターでは、飯南・飯高・嬉野（宇気郷／中郷）にある空き家の物件情報をウェブサイト等で公開し、移住・定住・二地域居住等を希望する利用者に空き家を紹介しています。
空き家を所有されている方などで、「使っていない空き家を手放したい」「将来のために制度の話を聞きたい」ときなどの相談や制度利用の支援を行います。お気軽にご相談ください。

「まつさか移住・交流センター」へご相談ください

飯高町宮前１７９－１　「道の駅飯高駅　飯高茶屋内」
☎０５９８－６８－９７８２
窓口：午前９時～午後４時
休業日：水曜、祝祭日及び年末年始

ウェブサイトはこちらから



＼特別な知識は不要です／
まずはお気軽にご相談を！
「売りたい」「貸したい」
どちらも大歓迎です！